

令和6年度 音楽科授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・発達段階に応じて、音符や楽譜などの基礎的・基本的な知識を習得させることができた。
- ・鑑賞の学習では、低学年は感じたことを言葉で言い表したり、高学年は感じたことを音楽的な理由とともにワークシートに記入したりすることができた。

(2) 課題

- ・曲を聴いて感じた曲想を、器楽演奏や歌唱で表現することに課題がある。
- ・音楽づくりの学習では、児童同士でより良い作品になるように話し合ったり、協力して思いを一つにまとめたりする協働学習に課題がある。

2 授業の分析

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身体表現を楽しみながら行い、4分音符と8分音符を手拍子で打つ力を身に付けることができた。 ・鍵盤ハーモニカの基礎的な奏法を全員に定着させることが難しい。	・即興表現やリズムづくりでは、自分の思いや意図をもって作品をつくることができた。 ・音楽づくりの学習では、ペアの児童と順番を決めたり、意見交換をしたりする活動に課題がある。	・新しい曲や新しい奏法への意欲が高く、楽しんで学習に取り組む姿が見られた。 ・友達の発表を聴いたり、感じたことを伝え合ったりするなど、協力しながら学習に取り組むことができる児童が少ない。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本的な楽譜の読み方や、リズム感を身に付けることができた。 ・リコーダーの新しい音をきれいな音色で出す方法や、高い音を出すためのサミング等の奏法を全員に定着させることが難しい。	・鑑賞の学習では、強弱や音色の違いに気づき、タブレットにまとめることができた。 ・音楽づくりの学習では、グループ内でより良い音楽をつくるために、意見を出し合ったり、まとめたりする活動に課題がある。	・新しい曲や新しい奏法への意欲が高く、すすんで学習に取り組む姿が見られた。 ・課題のある部分の練習を繰り返すなど、こだわりをもって学習に取り組む児童が少ない。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・合奏の学習では、パートの役割を考え、音量を変えたり、タイミングをそろえたりしながら演奏することができた。 ・歌唱の学習では、頭声的な発声方法を身に付けたり、他声部の音を聴きながら歌ったりすることに課題がある。	・オーケストラの曲を聴いて曲想と要素を結び付けて聴き取り、タブレットにまとめることができた。 ・音楽づくりの学習では、グループ内でより良い音楽をつくるために、意見を出し合ったり、まとめたりする活動に課題がある。	・友達と話し合いながら、主体的に音楽づくりの学習に取り組むことができた。 ・課題のある部分の練習を繰り返すなど、こだわりをもって学習に取り組む児童が少ない。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・鍵盤ハーモニカの学習では、児童の特性や発達段階を踏まえた指導法を身に付ける。	・ペア活動の機会を増やし、経験を積み重ねる。また、良い取り組み方をしているペアを、手本として紹介する。	・1つの曲でも、児童によって多様な感じ方がある。そのため、鑑賞の学習の際、児童同士で感じたことを交流させる機会を設け、伝え合うことの楽しさを味わわせる。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・リコーダーの学習では、運指表を用いたり、正しい音色を聴く機会を増やしたりするなど、繰り返し真似をさせながら定着を図る。 ・児童の特性によって、ミニ運指表を用意したり、ひらがな表記の楽譜を作成したりするなど、個別の対応をする。	・グループ活動の際は、話し合いの過程を明確に提示する。また、良い進め方をしているグループを手本にしたり、話し合いの機会を増やしたりするなど、経験を重ねて達成感を味わわせる。	・プロの音楽家が演奏している「良い音」に触れる機会を増やす。また、児童の演奏を録音・録画して演奏を自身で振り返る機会をつくる。児童が目指す音楽に近づくために何が必要なのか、考えさせ、練習につなげることを目指す。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歌唱の学習では、常時活動で行う「呼吸体操」や発声練習を通して息の使い方や頭声的な声の出し方を指導する。 ・リコーダーの学習では、運指表を用いたり、正しい音色を聴く機会を増やしたりするなど、繰り返し真似をさせながら定着を図る。	・グループ活動の際は、話し合いの過程を明確に提示する。また、良い進め方をしているグループを手本にしたり、話し合いの機会を増やしたりするなど、経験を重ねて達成感を味わわせる。	・プロの音楽家が演奏している「良い音」に触れる機会を増やす。また、児童の演奏を録音・録画して演奏を自身で振り返る機会をつくる。児童が目指す音楽に近づくために何が必要なのか、考えさせ、練習につなげることを目指す。